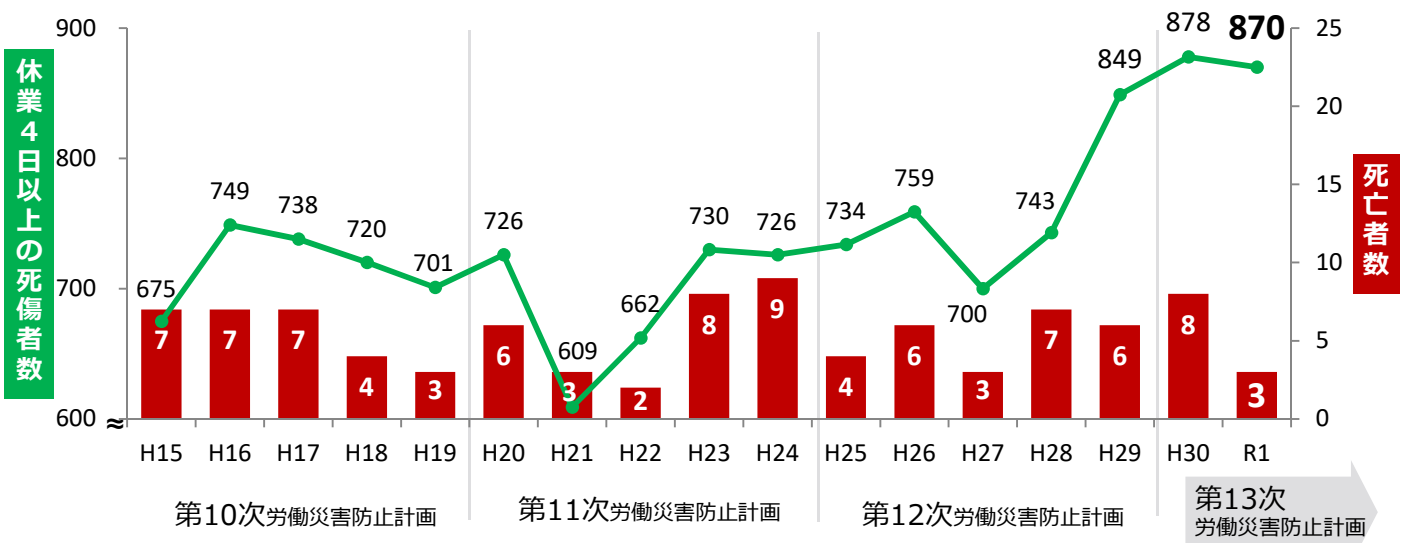
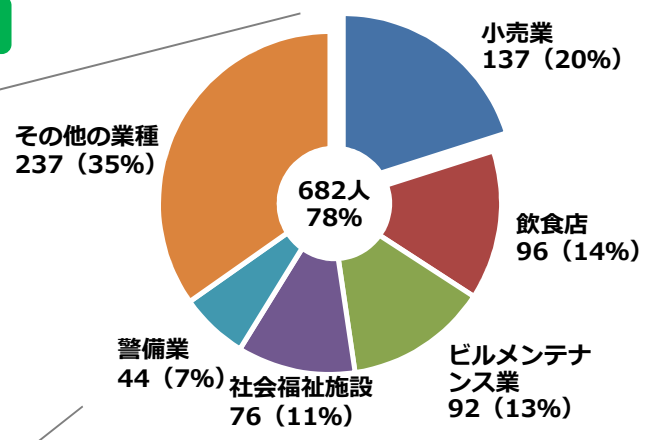
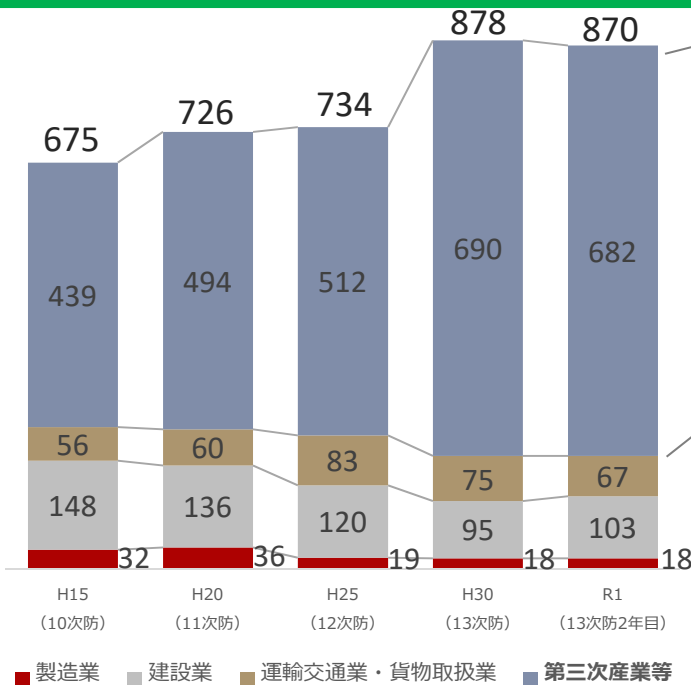


# 新宿労働基準監督署管内の労働災害発生状況 (R2.4)

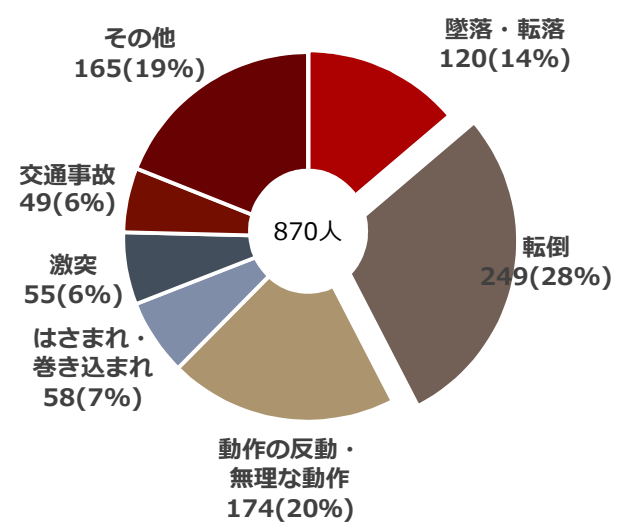


13次防の初年度である平成30年の休業4日以上の死傷者数は、12次防の初年度である平成25年に比べ**144人の増加（増加率+20%）**となっている。**災害全体の約8割を占める第三次産業は35%増**であり、**小売業や社会福祉施設、飲食店、ビルメンテナンス業で55%を占めている**。一方、**建設業は同比25人の減少（減少率-21%）**している。事故の型では、**墜落・転落と転倒で全体の4割**を超えているほか、動作の反動・無理な動作（腰痛等）も高い割合にある。平成30年の死亡者数は、平成25年と比べ**4人増加（倍増）**しており、**交通事故と墜落・転落災害で全体の6割**を超えている。なお、13次防期間中の死亡災害は第三次産業において高い割合を占めている。

## 業種別の死傷災害発生状況（災防計画初年度比較）



## 事故型別の死傷災害発生状況（令和元年）



## 業種別の死亡災害発生状況（平成30年～令和元年）



裏面事例参照

# 新宿労働基準監督署管内の死亡災害(13次防期間中)

年	業種	事故の型	起因物	職種	年代	経験年数	災害の概要
30年	建築工事業	交通事故(道路)	乗用車	管理者	60歳代	30年～	被災者は、建設工事現場から車で帰社途中、前方車からの落下物を避けようとして車が横転し、前方車に衝突した。
30年	建築工事業	飛来、落下	その他の仮設物、建築物、構築物等	解体工	30歳代	1～5年	被災者は、解体現場でのダクトの撤去作業を行っていたところ、当該ダクトが落下し、被災者の頭部に激突した。
30年	建築工事業	墜落、転落	作業床、歩み板	作業者・技能者	70歳代	30年～	被災者は、ビル新築工事における土止め用H鋼の切断作業中、地上1階から地下1階に通じるドライエリア下へ墜落した。
30年	小売業	交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク	配達員	10歳代	～1年	被災者は、バイクに乗り新聞の配達作業中、交差点において普通自動車に衝突した。
30年	小売業	激突され	乗用車、バス、バイク	販売店員	70歳以上	～1年	被災者は、給油のために来店したタクシーを後方で誘導していた際に、タクシーに衝突され、地面に後頭部を強打した。
30年	ビルメン業	墜落、転落	階段、棧橋	清掃員	70歳以上	～1年	被災者は、清掃作業場所であるマンションの外階段をハンドバキュームを持って2階から1階へ移動中に1階まで転落した。
30年	その他の事業	交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク	営業・販売関連事務員	40歳代	1～5年	被災者は、出張先にてタクシーに乗車中、タクシーが反対車線に入りトレーラーと正面衝突した。
30年	映画演劇業	激突	建築物、構築物	その他の職種	20歳以上	1～5年	被災者は、屋外階段の踊り場から、飛び降り時のアクション訓練を行っていたところ、意識不明となった。
元年	ビルメン業	墜落、転落	建築物、構築物	清掃と畜業	20歳代	1～5年	被災者は、建築物屋上にて、高所ガラスの清掃作業を行う準備作業を行っていたところ、墜落した。
元年	ビルメン業	墜落、転落	階段、棧橋	清掃員	70歳代	～1年	被災者は、ビルの清掃作業中、階段の踊り場に転落した。
元年	ビルメン業	墜落、転落	作業床、歩み板	清掃員	50歳代	5～10年	被災者は、オフィスビル1階外部の植込み脇の保管場所から窓拭き用の清掃用具を取り出していたところ、植込み横の開口部から約6m下の地下1階の床に墜落した。